

令和8年3月高等学校卒業生より『推薦開始日から複数の 応募・推薦(原則2社まで)を可能とする』へ変更!

埼玉県高等学校就職問題検討会議では、新規学校卒業生の就職機会を確保するとともに、地域の状況等を踏まえた就職支援、職業紹介が円滑に推進されるよう、関係者の連携体制を確立し、必要な事項の連絡・検討・協議等を行っています。

この会議を令和7年2月14日に開催し、令和8年3月新規高等学校卒業生の応募・推薦方法の在り方について協議した結果、次の「申し合わせ(一部抜粋)」に変更することに決定しました。

1 複数応募の開始時期について

- ・令和7年度については、推薦開始日から複数の応募・推薦(原則2社まで)を可能とする。

2 求人募集について

- ・求人者は、指定校求人以外の公開求人において、複数応募を可能とするか、単願応募のみ可能とするかを選択することができる。

3 生徒の応募について

- ・指定校求人に応募していない者。
- ・単願応募のみ可能としている公開求人に応募していない者。

4 採用選考等について

- ・求人者は学校を通じて応募があった場合、速やかに採用選考を行う。また、選考結果についても速やかに学校を通じて生徒に通知する。
- ・求人者は応募書類について、パソコン作成であることを理由に不利益な取扱を行わないようにする。
- ・求人者は単願応募・複数応募のみをもって採用選考の判断基準としないようにする。
- ・求人数を上回る採用内定を出した求人者は、内定の承諾があった内定者全員を雇用する。

5 生徒の意思表示について

- ・生徒は内定通知受領後、速やかに内定の承諾について学校を通じて求人者へ通知する。
- ・なお、複数の求人者から内定を受けた生徒は、いずれかの求人者に対して内定の承諾の通知を、他の求人者に対しては内定の辞退通知を、速やかに学校を通じて行うようにする。

※上記2の注意点・・・求人者が複数応募を「否」とする場合は、単願応募の公開求人とする。

令和9年3月高等学校卒業者の 就職に関する「申し合わせ」が決定しました。

※令和7年度高等学校卒業者より

『推薦開始日から複数の応募・推薦(原則2社まで)を可能とする』へ変更！

～ハローワークでの求人申込は6月1日から開始します～

埼玉労働局では、新規学校卒業者の就職機会を確保するとともに、地域の状況等を踏まえた就職支援、職業紹介が円滑に推進されるよう、関係者の連携体制を確立し、必要な事項の連絡・検討・協議等を行うことを目的として、令和8年3月17日に「第3回埼玉県高等学校就職問題検討会議」を開催しました。

令和9年3月高等学校卒業者の就職問題について協議した結果、下記事項を厳守するよう関係者に周知徹底することを申し合わせました。

① ハローワークでの 求人申込	A：受付開始	令和8年6月1日以降 (ハローワークで内容の確認(※))
	B：求人提出企業 への返戻開始	令和8年7月1日以降
② 学校推薦・ 企業選考等	① Bの求人票返戻後 学校への求人申込	令和8年7月1日以降 (ハローワークにおける求人受付・確認後(※))
	企業による学校訪問	訪問時は必ず学校と連絡調整を図ったうえで、ハローワークの確認を受けた求人票を持参する。
	企業による家庭訪問	全面禁止
	学校の推薦開始	令和8年9月5日以降(文書到着主義)
	企業の選考開始	令和8年9月16日以降 ※変更点 推薦開始日から複数の応募・推薦を可能とする (ただし、求人者が複数応募を希望する場合に限る)
就業開始(名目の如何を問わず)	卒業後	
6月1日から県内ハローワークへ高卒用求人申込みを開始する企業の皆様は、求人票の記入方法を確認の上、ご提出ください。		

(※)ハローワークの確認を受けていない求人申込みに対しては、高等学校は生徒の応募・推薦を行いません。

◎詳しくは、埼玉県内各ハローワークにお問い合わせください。

埼玉県高等学校就職問題検討会議申し合わせ事項

※令和8年3月17日申し合わせ

1 複数応募・推薦について

令和8年度については、推薦開始日から複数の応募・推薦（原則2社まで）を可能とする。

2 応募前職場見学について

就職希望生徒の職業や職場に対する理解を深め、適切な職場選択及び就職後の早期離職の解消に資するため、応募・推薦開始日前の職場見学を推進するとともに、生徒への事前・事後指導の徹底を図る。

埼玉県高等学校就職問題検討会議における確認事項

1 求人募集について

求人者は、指定校求人以外の公開求人において、複数応募を可能とするか、単願応募のみ可能とするかを選択することができる。

2 生徒の応募について

次の①・②のいずれにも該当する生徒は、複数応募を可能とした複数の求人に対して応募することができる。

ただし、県外の求人に応募する場合は、応募先都道府県の申し合わせによること。

- ① 指定校求人に応募していない者。
- ② 単願応募のみ可能としている公開求人に応募していない者。

3 応募前職場見学の実施について

実施に当たっては、次の事項に留意するものとする。

- ① 求人者は応募前職場見学の依頼があった場合には、事業活動に支障が生じない限り受け入れに努めるものとする。
- ② 実施時期は、原則として夏休み期間中など、学事日程への影響が少ない時期とする。特に実施日をあらかじめ指定する場合は、学校によって夏休みの始期・終期が異なることに配慮する。
- ③ 学校は、生徒が自身の適性を探るため、複数社の訪問を積極的に促すとともに、応募に向けた意思決定に適時適切な助言を与えるなど、生徒への指導を徹底する。
- ④ 求人者は、見学の際に、生徒個人の状況など直接採用選考につながる質問をすることや履歴書等の提出を求めることのないようにする。

4 採用選考等について

求人者は、採用選考等に当たって、次の事項に留意するものとする。

- ① 求人者は学校を通じて生徒から応募があった場合、速やかに採用選考を行う。また、選考結果についても速やかに学校を通じて生徒に通知する。
- ② 求人者は、オンラインを活用した応募前職場見学や採用選考を行う場合、学校と事前調整を行う。また、オンラインを活用する際は、生徒や学校の個々の事情に配慮する。なお、オンライン面接への対応可否を採用基準としたり、対応できないことをもって、不利益な取扱いを行わないようにする。
- ③ 求人者は応募書類について、パソコン作成であることを理由に不利益な取扱いを行わないようにする。
- ④ 求人者は単願応募・複数応募のみをもって採用選考の判断基準としないようにする。
- ⑤ 求人数を上回る採用内定を出した求人者は、内定の承諾があった内定者全員を雇用する。

5 就職面接会について

就職面接会は、正式応募前の「予備面接会」と位置付け、複数の企業での面接を可能とする。この場合、正式応募は、後日、学校を通じて行うものとする。

6 生徒の意思表示について

生徒は内定通知受領後、速やかに内定の承諾について学校を通じて求人者へ通知する。

なお、複数の求人者から内定を受けた生徒は、いずれかの求人者に対して内定の承諾の通知を、他の求人者に対しては内定の辞退の通知を、速やかに学校を通じて行うようにする。

7 民間職業紹介事業者が行う高等学校卒業予定者に係る職業紹介について

職業紹介に当たっては、次の事項に留意するものとする。

- ① 採用選考期日等については、「高等学校就職問題検討会議」における取りまとめを遵守する。
- ② 複数応募・推薦については、「埼玉県高等学校就職問題検討会議」における申し合わせを遵守する。
- ③ 「学校との連携」をはじめ、職業安定法や同法に基づく指針（※）を十分に踏まえ、事業者としての責務を果たすようにする。

（※）（平成 11 年労働省告示第 141 号）（最終改正 令和 6 年厚生労働省告示第 318 号）

- ④ 応募書類については、「全国高等学校統一応募用紙」を使用する。

8 その他

- ① 生徒と企業の適切なマッチングを促進するために、キャリア教育の一層の充実やDX化を図る。
- ② 令和 8 年度以降、本申し合わせ事項及び確認事項について、効果・影響・課題等の検証を行う。

令和 8 年 3 月 1 7 日確認